

議 事 録

会 議 名	令和5年度 第1回 教育課程編成委員会
日 時	令和5年10月30日(月) 15:00~17:00
場 所	中央工学校OSAKA 1号館 31・32教室
参 加 者	[委 員] (敬称略) 小松原 学、金沢 ちかこ、田中 由之 [関係職員] 中村 聖吾、原 充介、戸澤 まり子、中島 征治、 檜崎 悟志、諸岡 邦行、吉田 知恵(司会) 篠崎 潤一(写真)、太田 育子(記録)、平上 秀明
内 容	1. 令和5年度 第1回 教育課程編成委員会 司会の吉田 知恵職員が開会の宣言を行い、教育課程編成委員会が開会した。 (ア) 学校長挨拶 中村校長より今回の委員会開催にあたって職業専門実践課程の枠組みの中で実施される委員会であることの説明があった。 続いて本校における現状について報告があった。 ・4月7日(金)に入学式を実施し、令和5年度がスタートした。 ・現在、全て通常対面授業とし、課外授業も認めている。 ・新入生軽井沢研修:4年ぶりに4月25日(火)より27日(木)の2泊3日で実施した。軽井沢研修所が人間涵養教育を体現している施設であること、三五荘などの研修施設の紹介、説明があった。 ・5月1日(月)卒業学年を対象とした合同企業説明会:千里ライフセンタービルにおいて4年ぶり対面実施。計46社の企業様にご協力いただいた。 ・5月31日(水)軽井沢研修のフォローアップの位置付けとして万博公園内、迎賓館にてテーブルマナー研修を行った。 ・7月25日(火)から28日(金) 前期試験を実施。 8月1日(火)から31日(木) 研究科を除く3学科は夏季休暇。 ・9月1日(金)より夏季休暇後の授業、前期試験の返却、あわせて解説、復習と課題最終提出を行った。

- ・9月11日(月)～14日(木) 前期追試試験の実施。
- ・9月27日(水) 前期成績会議を実施し、前期を終了した。
- ・後期について：前期と同様通常の対面授業を10月2日(月)より実施している。
- ・建築施工実習10月2日(月)より6日(金)まで4泊5日で富士教育訓練センターにて実施。
(建築学科・住宅デザイン科1年生中心)
- ・国内建築研修も11月7日(火)より10日(金)まで3泊4日で実施予定。(研究科)
- ・令和5年二級建築士学科試験について
7月2日(日)実施、8月21日(月)合格発表。(研究科)
- ・転科システムについては、インテリアデザイン科1名が住宅デザイン科へ転科した。
- ・4月以降入職の職員を紹介。

(イ) 配布資料の確認

吉田 知恵職員から、本日の配布物の確認を行った。

(ウ) 各学科の教育内容について

戸澤学科長より教育基本方針、建築系の運営について説明があった。

【教育基本方針、目標について】

- ・建築系の業務の効率、効果を鑑み google エデュケーションを導入した。令和4年度より試験導入後、zoomを廃止、ライブ感と直接指導へ活用し、また提出物の管理がしやすくわかりやすい。
(学生、教員とも)
- ・導入後、課題の管理の効率化を図ることが出来る。
- ・導入後、非常勤講師の授業においても課題の提出状況を見える化できる利点があり、情報の共有が可能である。
- ・インフォクリッパーにて出欠確認を行っているが問題点もあり
(紙の出席率と違い、日頃の出席状況をひと目で確認ができない、学生が自分の出席率を確認しづらいなど) この改善があればもっとスムーズになると考える。
- ・建築系目標については、3学科の特性を打ち出すことを推進していく。
- ・BIM教育の推進。BIM導入最先端学校としての教育の推進。

- ・研究科の2級建築士取得に向けての実現性、学習内容の充実。
- ・資格取得率の対策強化としてスケジュール、レベル、ニーズ、に合わせて組み直し合格率改善を図る。
- ・学生指導において個別と集団の指導を行う。学生をしっかりとよく観察し、アセスメント、それぞれに個別に指導する。
- ・複数の教員により支援体制の拡充。
- ・保護者様との密な連携での情報共有。教育懇談会等、必要に応じて情報共有の場を設ける。
- ・他者とのかかわり方の改善を図る。(グループ課題などの指導を積極的に行い、校外学習などを利用しながら、1、2年の合同の学習機会を設けるなどで工夫する。)

【運営について】

- ・新職員、パート職員の入職により徐々に改善。学生への指導体制の改善が図られるようになってきた。
- ・カリキュラムの改善、インターンシップの必修カリキュラムからの撤廃。(早い段階でインターンシップを行うべきであるため)
- ・1年生後期より進路指導を開始するが、まだまだ高校性気分が抜けておらずなかなか進まない現状である。早い段階で就職活動ができるような工夫は必要となってくる。
- ・ビジネス能力検定は廃止。(スケジュール、レベル、ニーズの資格指導を鑑みて廃止とした。)
- ・住宅デザイン科の住宅設計コースのみCADとしてアーキトレンドの導入し、今年度の卒業制作にて検証する。
- ・1、2級建築士同時受験について
今年度に同時受験した大学卒の研究科の1名の結果を踏まえ、2級建築士製図の後のサポート、次年度の1級建築士カリキュラムへ移行するなど新しい考え方も必要。
- ・レンタックス(デコルーム)コンペティション、主張する「みせ」学生デザインコンペ、あすなる夢建築大阪府公共建築設計コンクールなどのコンペ結果について報告。引き続きコンペ入賞率の向上を目指す。
- ・卒業制作 全員の中から選抜者6名を選出。
- ・環境教育 SDGsを意識した教育課題に力を入れる。
- ・発展科目(選択科目)の脱落者問題、講師のモチベーション、学生の意欲低下への対策強化。

- ・課題の遅延提出者防止について 個別指導により防止する方策を考えている。
- ・休退学について 建築学科 7 名、住宅デザイン科 3 名、インテリアデザイン科 6 名。住宅デザイン科は減少傾向であるが引き続き対策が必要。
- ・google クラスルームにてリアルに細かくチェック、仲間づくり。(校外学習の充実など)
- ・新職員による副担任体制の充実。
- ・資格取得についての対策は合格率向上のため 1 年生からの早期指導の強化。

(エ) 令和 4 年度前期課題作品の視察。

平上 秀明職員より建築系 3 学科 1 年生の作品説明、引き続き、建築学科 2 年生の作品説明、吉田 知恵職員より住宅デザイン科 2 年生の作品説明、戸澤 まり子学科長よりインテリアデザイン科 2 年生の作品説明を行った。

(オ) 意見交換

【小松原 学委員】

- ・基本的な教育基本方針考え方を認識できた。
- ・BIM を大町ダムの現場でも活用。DX、スマホ、iPad で施工指示し現場データを分析する最新技術の活用も大切であるが、基本教育が徹底することが重要であり、これを守ってより強固なものとしていただきたい。
- ・コロナ状況、集団の生活が出来ていない者が多くなってきている現状であるが、やはりコミュニケーション能力は必要。
- ・測量分野においても測量機材からロボットへ移行しており (営業担当者にも施工管理などの教育の必要性も有り) 測量士の有無が問われてくる。先進技術も大切だがツールを使う者の徹底した基本教育が必須である。

【金沢 ちかこ委員】

- ・他大学の 2 年次と比べると本校の 2 年生はかなりレベルが高い
- ・ソフトの習得などクリエイティブ性がプロとして、素人となりが違うかをハード面とソフト面で認識するバランスが必要となる。急に勉強したからできるものではないため、今後のマーケティング

グから構築する学びが必要となっている。

- 便利になっている分、素人もできるソフトなどの技術発展があるためプロは違う目線で使い方など常に1歩上である必要が出てくる。
- 3D パースも大事だが手書きのパースを進めて、モノのスケール感を手に覚えていける学習はとても良い。
- 学科によって使用するソフトを変えている事は良い。
- 建築、住宅、インテリアなどで、プロジェクトを行うなど横のつながりを持ってコミュニケーションが発展していく方法になると思う。

【田中 由之委員】

- 基本方針などについて拝聴し就職先、業界側の認識も変えていく必要が出てきていると感じる。他者とのかかわり方を模索し個人課題からチーム課題へと取組みを移行しているが、まだまだ現状チーム的な考え方、他者との助け合いなどが欠落している部分がある。チーム感覚が学生の時にもっとあっても良い。
- 資格を取って当たり前のようなことをプッシュしないとモチベーションが上がらない、言葉で後押ししてやらないと若い子には伝わりにくい。業界としても努力が必要である。
合格率の合否で学生のモチベーションがあがり下がりしてしまう。
- 作品を拝見して、1 年生前期の段階で他大学のレベルよりだいぶ良いと思う。2 年間のカリキュラムの中で底力がついていると思われる。
- 建築の敷地、外構の見え方で建物自体の見え方が変わるので、早い段階から外構設計、空間構成を考えていくことを教えることが必要。
- BIM の入力に必死になりすぎて、文字の大きさなどを調整する時間がなくなっていると見受けられる。図面というものは形だけでなく、文字の大きさや寸法の位置なども含めて図面である。そこまで求められることをもう少し指導する必要がある。
- 1 番最初の CAD を使うときの学生の PC の知識はどうか？

【平上 秀明職員】

- ・ネットや、オフィス系をさわる者は少し増えてきている

【田中 由之委員】

PDF への変換や、画像をどこに保存できるかわかっているか？
データ保存先はわかっているか？

【吉田 知恵職員】

- ・IT リテラシーの授業で基本操作は学ぶが、撮った写真を PC に添付できない、メールが書けないなどの問題があるので別の授業で補助的な課題をさせていく。

【小松原 学委員】

- ・平上職員へ施工図のとらえ方や考え方を学んでいただける教材を現在制作中であるため是非、活用していただきたい

【原 充介教務部長】

- ・DIPLOMA2023 卒業作品集 本校学生 P 6 掲載の案内
- ・8 月の学校関係者評価委員会での各委員の皆様からいただいた評価書のご意見をとりまとめた学校関係者評価書の案内。
- ・事務連絡
2 月 14 日(水)、15 日(木) 卒業制作発表会
第 2 回教育課程編成委員会は令和 6 年 2 月 16 日(金)の予定。

2. 閉会の辞

中村校長が閉会の宣言を行い、教育課程編成委員会が閉会した。

【配付資料一覧】

- ・令和 5 年度 第 1 回教育課程編成委員会 次第
- ・令和 5 年度 教育基本方針
- ・令和 5 年度 建築系の運営について
- ・DIPLOMA2023 卒業作品集・活動報告
- ・学校法人中央工学校 軽井沢合宿研修
- ・令和 4 年度 学校関係者評価書

以上